

ソーシャルクラブ

実習報告

利用者・
スタッフ
でつくる

en+courage

エンカレ通信 2018年 10月号
京都版

今回、A社で8月20日～8月25日までの5日間実習に行きました。A社は大学構内のレストランで調理補助や接客を行っています。作業内容は、冷蔵庫拭き、漬け物の盛り付け、食洗、洗い物、すりこまごまをする、お盆拭き等を行いました。

今回の実習の感想は、初めて1週間実習に行って、週の半ばぐらいにかなり疲れがドツと出てきましたが、最終日まで頑張って実習を続けることができて良かったと思いました。又、作業内容も勝手な思い込みで難しい事をするのではないかと思っていました。が、全くそんな事はなく、作業内容は分かりやすく、スムーズに行うことができました。

今回の実習を通してこの作業をするのが向いているのではないかと自分自身知る事ができました。

利用者A

亀田さん特別講座

講座のテーマは「アサーションによる自己表現」でした。「アサーション」とは、より良い人間関係を構築するためのコミュニケーションスキルの一つで、自分のことを考えつつ、他者にも配慮するような自己表現のことです。講座の前半は自己表現のタイプについて学び、後半はアサーションの練習をしました。アサーションの方法は、

- ① 状況を客観的に描写する
- ② 自分の気持ちを主観的に説明する
- ③ 解決策などを提案する
- ④ ③が否定されたときの選択肢を考えておくです。

実践してみると自分の主張が伝えやすくなりとても便利なコミュニケーションスキルだと感じました。これから積極的に使っていこうと思います。

利用者C



出来上がった食品サンプル



サントリー山崎蒸留所

私のチームは、食品サンプル作りとカードゲームをしました。食品サンプル作りは、京都タワーの2階でパフェのサンプル作りをしました。食品サンプルを作るのは初めてでしたが、童心に戻った気持ちで工夫を凝らしながらオリジナルのサンプルを作成しました。カードゲームでは、エンカレッジで、いつもとは違う種類のカードで遊びました。ルールは分かりやすくしてはらはらどきどきする内容でした。ゲームの中で戦略的な思考を養うことができたと思います。

今回のソーシャルクラブは「観る」ことよりも「遊ぶ」ことが中心でした。「遊び」の中でメンバーの個性や価値観に触れて、新たな発見があったと思います。ありがとうございました。

利用者Q

9月21日にサントリー山崎蒸留所に行つて参りました。ここでは、サントリーウイスキーの歴史や製造工程を知ることができました。特に、印象を受けたのは多彩の原酒やウイスキーが数千本並んでいるところ。普段見慣れないものもあり、珍しいと感じました。

このように、普段とは異なったことできました。要するに、店でよく見かける、ウイスキーがどのように伝わっているのかを知ることができました。良い1日だったとおもいます。

ぜひみなさんも1度は訪れてはどうでしょうか。

利用者H

連載(全三話) 【砂上の楼閣】

第一話

身に付けた粗末な服ですら焦げそうな暑さの中、列を組んで砂漠を歩く人の群れ。彼らは袖で顔を守り、荒れ狂う砂嵐が過ぎ去るのを待つ。そして再び歩き始めた。体力をすっかり奪われてしまっているせいで、冗談を飛ばしたり罵り合ったりすることも無い。口を引き結んで、絶えず身を蝕む苦痛に耐えているように見える。その顔を見れば、入れ墨や削がれた耳といった特徴があることが分かる。列はまばらで、最後尾をゆく者は鞭打たれながらかろうじてついてきている。

砂の山はどこまでも広がっているかのようだ。先を行くものたちの背中さえ蜃気楼なのではないかと思えてくる。途方もないようだが、行き先があることは聞かされてきた。砂漠の向こうには交易で栄える町があるという。それを見ずにここで行き倒れにはなりたくない。わずかな水分を出来るだけ節約しようと思死にたくない。せいで想像を絶する過酷な状況に体が悲鳴を上げている事にも鈍感になる。この一步に、全体重がかかっている。

「言っただけで、倒れたら置いていくと。お前の覚悟はその程度か?」

鞭が飛んだ。とても立っていられず、転がって砂まみれになる。砂の熱さにもがく力すら無く、もう起き上がれそうにないと悟った。

「覚悟?そんなものが何になる。俺だつてなりたくてこゝなつた訳じゃない」

おもちゃか何かのように何度も起き上がることがひどく馬鹿馬鹿しくなつて、乾いた笑いを上げた。こんなの野良犬同然じゃないか。

「勝手にしろ。お前みたいな奴は誰も捜さない」

遠ざかる足音を最後に、孤独になる。これから死ぬという実感はあまり無く、もうぶたれなくてもいいことに安堵していた。

利用者Z

私は、9月7日にB社の企業見学に行きました。B社は、発達障害専門雑誌の出版やカウンセリング、習字教室の運営等を行っています。

苦手なことでもやってみよう、経験を伝えていこうという社長さんの貪欲な姿勢からは困難を乗り越えていく強い意志が感じられます。人との繋がりを大切にされた様々なビジネスを展開されておられるとのことでしたが、不明瞭のままの点があったこともグループワークで挙がりました。仕事はスキルをお持ちの方を中心に分業化が図られていたようです。社長さん以外の方がどのような働き方をされているのかも聞いておきたいところでした。利用者J

私は、9/3にA社の企業見学に行きました。この会社の事業は、DIYなどをするときの部屋を貸し出す、いわゆるレンタルルームを行っています。外観は、とても落ち着いた感じの部屋になっており、ひとつひとつに小部屋が用意されていてそこで、作業をします。

この会社では、働いている人が2人しかおらず、結構忙しいのだなあと思いました。会社は、できて間もないために、これから人が増えていこうと考えられています。新規事業というのは最初はなかなか困難がありますが、成長してほしいです。利用者H

企業見学報告

スタッフコラム

今回は、西が担当いたします。9月より我が家では1匹のハムスターを飼い始めました。私の娘(4歳)が「何か動物を飼わせて」とねだったことがきっかけです。初めは猫やウサギをねだっていましたが、「ハムスターなら...」と伝えて飼うことになりました。

教育の専門家によると「人間同士と違い、会話ができない相手＝動物の気持ちを読み取る」という努力が、『友達の気持ちを読み取る』『母の気持ちを読み取る』努力につながり、人間としての心が豊かになる」そうです。

娘はまだまだわがママをいう事が多いので、ハムスターを飼うことで「自分がわがママをいうことで相手がどう感じるのか」を想像できるようになることを願っています。スタッフ 西

【編集後記】

10月になり秋風が吹くようになり、道に咲いている花も新顔に変わり始めました。このところ日本列島は台風や地震などの災害に見舞われ、大きな被害を出しました。

なかなか行事を楽しむ余裕がないかもしれませんが、一日という時間は誰にでも平等に訪れます。

被災した方々には行事やお祝い事を楽しんで、少しでも秋を感じて、一日を楽しんでもらいたいです。利用者O

【10月の予定】

- 10/19【金】 ソーシャルクラブ (BBQ大会)
- 10/24【水】 PC記録会
- 10/31【水】 午前のみ開所

私は9月3日にC社に企業見学に行つてまいりました。建物の外装および内装の会社ということもあって、社内のデザインはとてもおしゃれでした。特に会議室は何インチあるかよく分からないくらいとても大きなモニター、おしゃれな照明やテーブルに社員全員分の椅子とまるでデザイン会社のような装いでした。

倉庫の中も見学させていただいたのですが、とても綺麗に整頓されているうえに敷いてあるタイルカーペットもやはりおしゃれで、ホームセンターの一区画にきたかの様でさえありました。そのような中で空の酒瓶が1本だけぽつんと置いてあり、先日、BBQパーティをして片づけるのを忘れていたな・・と担当の方が苦笑しておられたのが印象的でした。利用者I